

令和元年度第3回総合教育会議 会議録

1. 開催日時 令和2年2月18日(火) 15:30～17:10

2. 開催場所 西条市庁舎新館4階404会議室

3. 出席者 【構成員】

西条市長 玉井 敏久

教育長 伊藤 隆志

教育長職務代理者 田邊 重義

委員 河本 千恵子

委員 福田 亜弓

委員 鳳 慶洲

【構成員以外】

経営戦略部長 越智 三義

総務部長 高橋 雄次

建設部長 松田 敏

管理部長 高橋 俊博

指導部長 松井 直樹

市民生活部副部長兼人権擁護課長 近藤 誠

管理部副部長兼社会教育課長 三好 昭彦

教育総務課長 高橋 壯典

学校教育課長 越智 英治

学校教育課主幹 松本 卓也

【事務局】

経営戦略部副部長兼政策企画課長 大西 保彦

政策企画課政策企画係専門員 大久保 武

政策企画課政策推進係主任 越智 太紀

4. 市長挨拶

メンバーが変わったこともあり、新鮮な気持ちで会議に望みたい。本日の会議は、報告が2件、協議が2件、その他の案件が1件となっている。よろしく願いたい。

5. 報告

(1)第2期西条市総合計画後期基本計画(第2期西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略)について
経営戦略部長から説明

市長 まちづくりの背骨となるものが総合計画。今回、総合計画後期基本計画に未来予想を入れさせていただいた。この未来予想を考慮しながら、各種施策に取り組んでいこうと考えている。総合計画後期基本計画は、各種団体の代表者の方など計 36 名の総合計画審議会の委員と協議を重ねて作ったものである。作っただけで終わらないように、いかに市民に浸透させていくかが我々の役割だと考えている。

河本委員 第 5 章第 1 節「学校教育の充実」に関係する個別計画として学校施設長寿命化計画の記載があり校舎棟の改修を成果指標としているが、長寿命化の取り組みはどのようなものか教えて欲しい。

教育総務課長 小中学校の校舎棟は、これまで 40～50 年程度で建て替えが行われてきたが、今後財政状況が厳しくなるなかでこれまでの対応が困難になっている。そのため、校舎棟の老朽度などを調査して、長寿命化できるものは改修することで 30 年ほど長寿命化させようと考えている。平成 30 年度から 3 か年で市内小中学校の校舎棟や体育館等の施設を調査し、その結果に基づき計画的に改修を進めていく予定である。

河本委員 市内全ての小中学校を対象にしているのか。

教育総務課長 全ての小中学校を調査する予定。建築年、耐震、老朽度等、様々な調査項目を設けて調査を実施しており、これまでの調査結果から、来年度、まずは飯岡小学校において長寿命化の工事に着手する予定である。

市長 子どもたちの人口推移を参考にしながら、全棟やりかえるのか、それとも 3 棟のうち 2 棟だけやりかえるのか見極める必要があると考えている。

(2) 学校給食会計の公会計化について

教育総務課長から説明

鳳委員 公会計化で徴収率が下がったところがあるということだったが、その原因はどのようなことが考えられるか。

教育総務課長 推測ではあるが、保護者としては、先生から言われた場合と市から事務的に言われた場合で、受け止め方が異なることが考えられる。

田邊委員 先生の業務負担が軽減されるため、公会計化には賛成であるが、市民税などの納税関係のシステムにおいても滞納があるように、公会計化したからといって徴収率を 100%にすることは難しい。入学手続きの際に、一律に保護者から書面で同意を得るなどすれば、現状の方法でも徴収率を上げられるのではないかと。

福田委員 安心安全な給食を届けるためにはお金が必要。前回の会議で提案していたように保護者から書面で同意を得ることで次に繋がるのであれば、大変ではあると思うが検討してほしい。

市長 公会計化導入にあたってのスケジュール感はどのようになっているのか。

教育総務課長 公会計化を導入することを決定してから実際に準備するまでに2年間かかるとされているが、公会計化のシステムを導入したとしても、現在検討中である給食調理場のあり方が変わると、せっかく導入したシステムを見直さざるを得ない可能性があるため、そのあたりも含めて検討していきたい。

市長 給食調理場がどのようにあるべきかなど勘察しながら、市長部局、教育委員会が連携を図ってほしい。

河本委員 現在、未納者への対応は小学校、PTAごとに異なっている。公会計化することで未納者への統一した対応方針を打ち出すことができれば現場としては大変ありがたい。私が現職の時に公会計化の話がでたが、手続きや体制の整備、事例もないため前に進まなかった。今、こうして議題にあがることは大変ありがたい。公会計化に関してぜひ前向きに検討していただきたい。

教育長 PTA総会のときに、保護者に翌月給食を食べるかどうか、あえて意思確認を行ったうえで給食費を徴収したところ、徴収率は上がったが、それでも100%にはならなかった。保護者から書面で同意を得ることについても難しいと考えている。一方で、給食費だけでなく修学旅行費を払わない人もいて、ある年、学校ではなく業者が直接徴収するようになると、徴収率が上がった例もある。いろいろな試みを考えないといけない。市長部局と一緒に考えていきたい。

6. 協議

(1) 通学路の安全対策について

学校教育課長から説明

建設部長 建設部で取り組んでいる施策を紹介させていただきたい。
平成29年度から3か年で、小学校の半径500メートルの範囲において緊急で舗装の打ち換えを行っている。通常、道路管理者は、白線、外側線を引くことができるが、横断歩道、停止線は警察の管轄となるため道路管理者が引くことはできない。ただし、横断歩道や停止線を含む舗装を剥いだ場合は、原状回復ということで道路管理者でも横断歩道や停止線を引くことができることになっている。そのため、小学校の周辺で舗装が悪いところに関しては、集中的に舗装の打ち換えを行い、横断歩道や停止線を引いている。令和2年度で、すべての小学校まわりの整備を完了する予定である。

それ以外では、毎年、国からもらう交通安全対策特別交付金というもので、カーブミラーの設置などを行っている。これは、反則金等が原資となり、令和元年度は約1,560万円を修繕等で使った。また、学校側からいただいた通学路等の整備に関する要望について、道路管理者や警察で組織する連絡協議会で協議し、路肩のカラー舗装や信号機のない交差点を全面的に赤い路面にするといった対応を、道路管理者において実施している。

それから国道や県道など道路管理者が市以外のときに、直接道路管理者に言えない場合は、市に言っただけであれば繋ぐこともできる。

市長 子どもたちの尊い命を守ることは行政の責務。先程、学校教育課長から説明にあった、カーブミラーの設置ができない等の理由で対策困難箇所とされる4か所に関して、今後の計画はあるか。

学校教育課長 カーブミラーの設置が難しいところにおいては、子どもが自ら一時停止を心掛けることが大事だと考えている。交通安全教室を通じて、子どもたちに交通ルールやマナーを教えているが、交通安全協会の人や旗当番がいると、安心してしまっている。改めて、子どもたちに交通ルールやマナーを教育する必要があるのではないかと考えている。

鳳委員 小学校周辺の整備は、近隣中学校の通学路の整備に繋がるが、田舎の方では小学校の間隔が広いので、小学校周辺が整備されても、中学校の通学路の整備に繋がらないところがある。通学路で整備が必要な箇所がないか、中学校に話だけでも聞いていただきたい。

福田委員 30キロ規制がかかっている道路を横断する通学路があるが、旗当番もいて、旗を掲げているにも関わらずものすごいスピードで通過する車がいる。もし寒い日で車がスリップした場合など、子どもの列に突っ込むことも考えられる。横断歩道も停止線も消えかかっているが整備はどこに問い合わせればよいか。

建設部長 横断歩道や停止線は警察の管轄になる。警察との相談になるが、横断歩道や停止線を整備してもらうまでの間、運転手から見えるところにパトカーを駐車してもらったり、警察官に立ってもらったりすることができれば、抑止力となる。

福田委員 警察に相談した結果、月に2、3回程度は来ていただけることになった。それ以外の日は、保護者の有志で対応している。私自身も旗当番をしているが、危険な場面に何度も遭遇した。

市長 まずは、市にできることを考えないといけない。例えば、停止線の手前に凹凸をつけると効果がある。

田邊委員 登下校の時間帯に通行規制をかけられないのか。進入禁止にするのが一番良いと思う。

建設部長 警察との話になる。通行規制をするためには、沿線の方の同意が必要なので、地元の協力が必要になってくる。

学校教育課長 大町小学校区のゾーン 30 内で、警察が取り締まりを行ったが、高い効果があった。

市長 警察に要望しないといけないこと、道路管理者が対応しないといけないことを整理しながら、手を差し伸べないといけない部分については教育委員の皆さんやPTAの力を借りながら連名で要望をあげたり、工夫したりするなどしてしっかりやっつけていかないといけない。

(2)GIGAスクール構想について

学校教育課長から説明

市長 今回の構想のひとつに、児童生徒 1 人につき 1 台のコンピューターを無償で支給するといったことが掲げられている。

無償ということであれば、最近、医療の無償化によって、安易に病院に行く人が増えた結果、病院が大変なことになっている。地域医療を崩壊させているのは私たち自身かもしれない。

ものを大事にする子どもたちに育ってほしいという思いがあるため、無償で支給されたコンピューターではなく、自分の鉛筆や消しゴムを大事に使って学習して欲しいという気持ちはあるが、そうは言っていられない状況もある。構想の実現には、多額の費用がかかるため、これから一括調達すると安くなるのかといった話がでてくると思うが、教育委員会や財政を巻き込みながら検討したい。

7. その他

西条市教育大綱の見直しについて

経営戦略部長から説明

市長 令和 2 年度、教育大綱の策定のため、皆さんのご協力をお願いしたい。

コロナウイルスについて

経営戦略部長から説明